

# 南中生の活躍

【令和5年度見附スクールアート展出品生徒】 ※名前は紙面に掲載しました。

絵文字	1年1組	8名
	1年2組	8名
デッサン	2年1組	3名
	2年2組	7名
	3年1組	6名
	3年2組	4名
粘土	3年1組	10名
	3年2組	9名

## 降雪期における事故防止の徹底について

降雪期は、積雪や路面等の凍結に起因する事故に遭遇する危険性が高くなります。過去に雪遊びや除雪中、下校途中に足を滑らせ川や流雪溝に転落したりするなど、尊い命が失われる痛ましい事故が発生しています。

積雪状況を踏まえ、積雪時の通学路の安全確保と事故防止のため、次のことをお子様に御指導くださいますようお願いいたします。

- 1 貯水池の周辺や用水路など水がある場所には、積雪状況にかかわらず、絶対に立ち入らない。
- 2 積雪や雪庇により、隠れて見えにくくなった川や池等の岸や道路脇の雨水溝や流雪溝等の境界では、足を踏み外して転落する恐れがあることから、絶対に近づかない。
- 3 一見すると凍結しているように見えるプールや池であっても、人がその上に乗ることは極めて危険であり、絶対に行かない。
- 4 危険な場所に立ち入ろうとする、危険な行為をする等の仲間を見つけたら、制止するようお互いに声をかけ合う。
- 5 雪の下には、思わぬ危険物が置かれている場合もある。飛び乗ったり、仲間を押ししたりしてケガや事故につながる行動をしない。

## これからの主な学校行事

※予定は変更されることがあります

月	日	曜	学校行事等	月	日	曜	学校行事等
1	9	火	第3学期始業式	1	19	金	第3回英語検定
			3年生学習の確認テスト		22	月	3年生進学三者面談(～1/25)
	15	月	My 健(～1/19)		26	金	計算テスト
	16	火	学校環境衛生検査				生徒の集い
	17	水	漢字テスト		29	月	新清掃分担開始
18	木	入学説明会	31	水	1, 2年生家庭学習強調週間(～2/14)		
		3年生家庭学習強調週間(～2/1)			専門委員会		

見附市立南中学校学校だより1月号

# 南中だより

令和6年1月9日

教育目標 自主・協和・錬磨

電話 0258-62-0987 FAX 0256-62-0483

Mail minami@mitsuke-ngt.ed.jp

Homepage www.mitsuke-ngt.ed.jp/~minami/

## 大人になるための努力を⑧ 「四規七則」～「和敬清寂」の精神～

南中学校長 有本 千晴

明けましておめでとうございます。令和5年度第3学期が始まりました。私は、「3学期は未来の自分の出発点」と考えます。学校でも、2学期の生徒の学校生活アンケートや保護者の皆様の学校評価アンケート、教職員アンケートなどの結果を見て、3学期の方策をつくり実施します。それは、来年度に向けた改善の布石でもあります。始業式で、来年度によりよい自分になって新しい学年を始めることができるように、「自分は、何について、どのようなことを、どのような立場で頑張りたいか?活躍したいか?」を考えて、新年の抱負や3学期の目標を決めるよう話しました。

さて、個人的なことですが、学生時代に茶道を学んだためか、1月になると「初釜」をいつも思い出します。「初釜」とは、新年にお茶のお稽古を始める日のことで、新年のあいさつが終わった1月10日頃から行われます。茶道での新年会のようなものです。茶人は元旦に汲んだ水を使い、お茶を客に振る舞います。

大学のお茶の先生は、毎年の初釜のお稽古で千利休の説いた「四規七則〔しきしちそく〕」をお話されました。「四規」とは「和敬清寂〔わけいせいじゃく〕」の精神を言います。それは、次の4つです。

- 和…お互い仲良く協調性を大事にすること。
  - 敬…お互い敬いあうこと。
  - 清…見た目だけでなく心の清らかさのこと。
  - 寂…どんなときにも静かで穏やかな動じない心のこと。
- 「七則」とは、他人に接するときの次の7つの心構えです。
- 茶は服のよきように点て 飲む人がおいしいと感じる加減にお茶を点てて
  - 炭は湯の沸くように置き 炭は頃合よくちょうどよい加減の湯が沸くように置き
  - 冬は暖かに夏は涼しく 春も夏も過ごし易い環境を整えて
  - 花は野の花のように生け 花は野に咲くように自然に生け
  - 刻限は早めに 時間には余裕をもって
  - 降らずとも傘の用意 何事にも心がけ、怠らず準備を整えて
  - 相客に心せよ 全ての人をもてなそうとする気持ちを忘れないように

つまり、「心をこめる、本質を見極め、季節感を大切にし、いのちを尊び、ゆとりをもち、やわらかい心をもち、たがいに尊重しあう」のが大切だということです。

お茶の先生は、常々「茶道とはおもてなしの心。それを忘れてはならない」と教えてくださいました。祖母が茶道を教える資格をもっており、大学で教わった流派と同じだったため、教員になってからも、時々教わったり道具を見せてもらったりしました。

茶道の稽古をしたのは、大学卒業後を含めてわずか8年間ほどでしたが、今でも「四規七則～和敬清寂の精神～」を思い出します。「侘び、寂び」の精神や「一期一会」という言葉にもあるように、慎み深く、心を落ち着かせて、相手に対して最善を尽くす気持ちを念頭に置き、おもてなしの心や精神文化を生徒に伝えたいと思います。3学期の教育活動を、保護者や地域の皆様の御理解と御協力をいただきながら進めて参ります。今年もよろしくお願い申し上げます。

# 第2学期学校評価について

12月に、2学期の学校評価アンケートを実施しました。お忙しい中で御回答くださり、ありがとうございました。詳しい結果と対策は、学校評価だよりでお知らせします。

1学期のアンケートで明らかになった課題のひとつに、「自主的な学習態度の育成」がありました。生徒は、宿題や課題はやるのが概ねできています。しかし、それ以上の学習を自主的に決めてやる必要があり、望む様子が、生徒の取組の様子や保護者アンケートの割合などから分かりました。

## 【生徒アンケート】

No.	質問	1学期	2学期
1	「学校の学習内容が分かる・できる」と答えた生徒が90%以上	90.7%	86.8%
2	定期テスト前2週間の家庭学習を、1年生が70分間以上、2年生が80分間以上、3年生が90分間以上する生徒が90%以上	1年生 73.0%	78.9%
		2年生 81.0%	93.3%
		3年生 94.8%	91.9%
3	全校基礎テストの合格率が80%以上になる。	78.4%	79.0%

【分析】「授業では、『分かった』『答えられた』『できた』と思ったのに、テストでは答えられなかった」ということではないか。

## 【市共通保護者アンケート】「お子様の学習について、学校に特に望むこと」

学年	1年生		2年生		3年生		全校	
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
各教科の指導の充実	42.6%	37.3%	51.7%	46.7%	59.7%	61.1%	51.6%	49.2%
自主的な学習態度の育成	34.4%	32.2%	27.6%	25.0%	23.9%	22.2%	28.5%	26.2%
家庭学習の習慣化	8.2%	16.9%	1.7%	3.3%	6.0%	2.8%	5.4%	7.3%

【分析】「教師が、子どもに分かりやすい授業をする」とともに、「子ども自身が、勉強の大切さをしっかりと自覚して、自分で時間や内容を考えて学習する」ことができるようになればよいということではないか。

【課題となること】○ 教師の授業改善への取組を推進する。  
○ 生徒の学習内容の深い理解と定着を目指す。

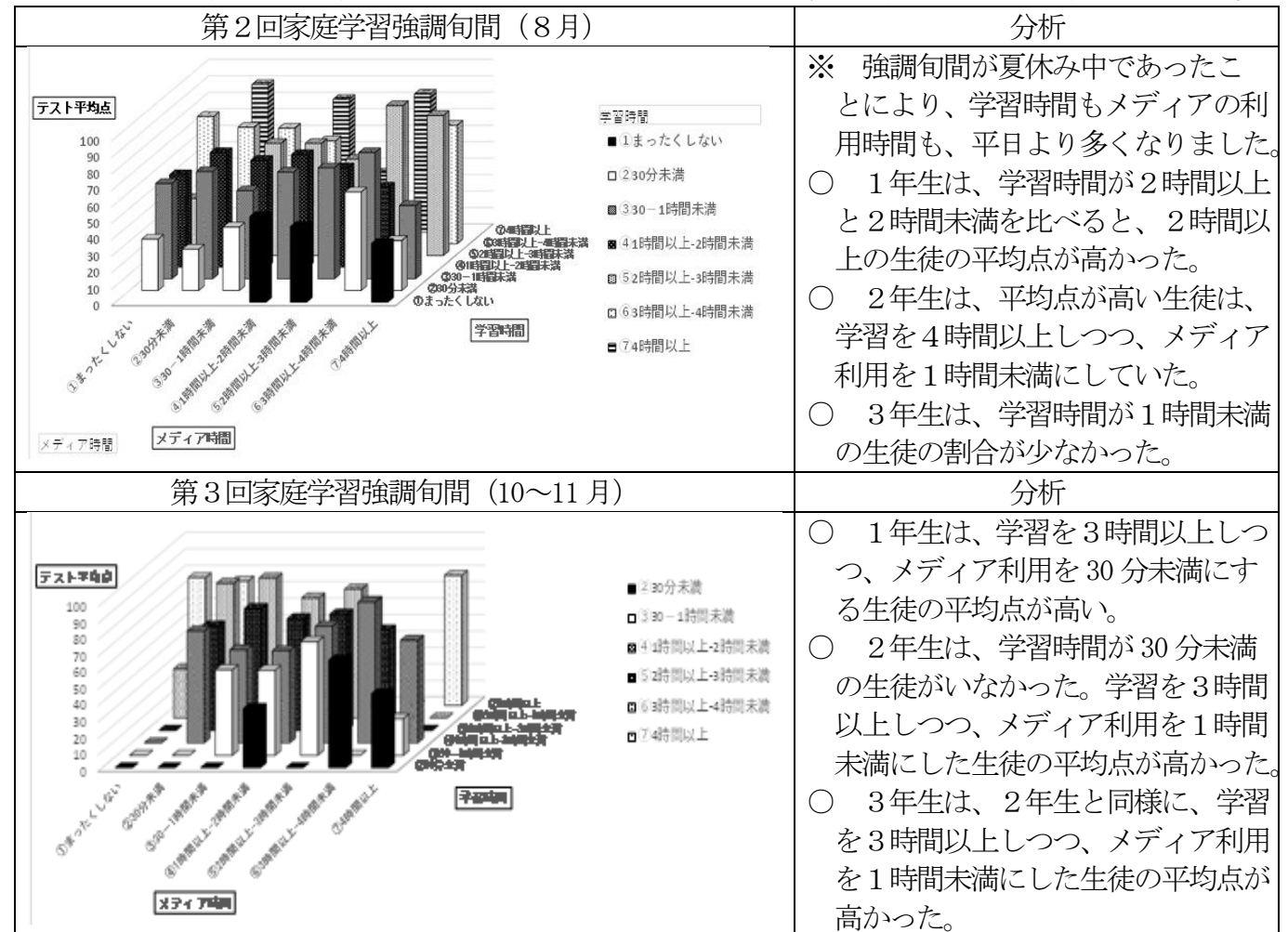
授業改善について、今年度も1人につき2回以上の授業研修や講演会、OJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング（On-the-Job Training）＝校内での現任研修）等で、知識・技術・技能・態度などを意図的・計画的・継続的に指導し、修得させるよう努めました。

新潟県教育委員会は、今年度から新たな研修制度として、研修履歴の記録と当該履歴を活用した資質向上に関する指導助言（対話に基づく受講奨励）等の仕組みを導入しました。教職員は、研修履歴を可視化することで自らの学びを客観視するとともに、今後伸ばすべき能力等を踏まえ、必要な学びに主体的に取り組むことになっております。本校でもこの取組を活用し、授業改善を全校体制で推進します。

生徒の学習内容の理解と定着のために、「自主的に学習に取り組むこと」とともに、「家庭学習に習慣化」が重要であると思えます。

- 学力調査や定期テスト、基礎テストなどでは、以前に学習したことを答える問題が出されることが多い。その場で理解したことを答える授業中の短期記憶とは異なり、数週間から数ヶ月が過ぎた学習内容を答える長期記憶が問われる。
- どれだけ気合を入れて勉強して覚えたとしても人間の記憶は消去されるため、復習が必要である。複数回の復習を経て、ようやく記憶は定着する。

生徒が最も復習に力を入れると思われる「家庭学習強調旬間」（定期テスト前2週間の家庭での学習時間）の結果と定期テストの得点及びメディアの利用時間をクロス集計し、学年の傾向を分析しました。



本校では、健康週間「My 健」を年3回（6，8，1月）実施しています。下校後に宿題や家庭学習、睡眠、趣味等の時間を、自ら考えて生活を組み立て、不断に自立し、健康に過ごす態度を育てることを目的としています。家庭学習強調旬間と「My 健」の結果を併せて分析します。生徒が、学校でも家庭でも自主的な態度で日々の学習に臨み、自りつ（立・律）して健康に過ごすことができるよう、時間の使い方を具体的に提案したいと考えております。保護者の皆様の御理解と御協力をお願いします。

# 南中生の活躍

※氏名は紙面に掲載しました。

令和5年度「税についての作文」 見附市租税教育推進協議会長賞

第73回「社会を明るくする運動」作文コンテスト 中学生の部 地区努力賞

第2回英語検定 3級

4級

第2回漢字検定 3級

4級

第83回見附市民卓球大会 男子個人戦 2年生の部 3位

令和5年度長岡市民スポーツ祭兼秋季市民卓球大会 中学生男子1年の部 3位トーナメント 1位

第47回新潟県アンサンブルコンテスト 中学生の部 中越地区 金賞代表 管楽打楽器七重奏

金賞代表 木管三重奏